



きゃんせ！えびの通信

【発行元】えびの市移住・定住支援センター

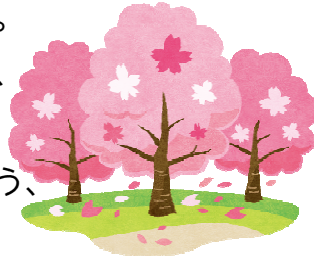
「きゃんせ！えびの通信32号」をご覧いただきありがとうございます。
ございます。

真新しいランドセルを背負った、新一年生たちのかわいらしい姿を見かけるころとなりました。

みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

当センターも新年度を迎えるにあたり、初心を忘れず努めてまいります。

今年度も変わらぬご厚誼を賜りますよう、
よろしくお願い申し上げます。



2023年1～2月

■センター利用の状況

問い合わせ件数・・・280件
移住者数・・・7世帯（12人）

■空き家バンクの新規登録状況

空き家登録数・・・6件
空き地登録数・・・1件
利用希望者登録数・11人

移住・定住支援策のご紹介

★ 空き家賃貸借契約支援事業補助金 ★

空き家バンク登録者間で行う賃貸借契約（借主が市外からの転入の場合に限る）
について、契約の安全上の確保のために市内の不動産業者に仲介を依頼した場合
の、仲介手数料を補助します。

【補助金額】

補助金の額は、仲介手数料相当額とする。

ただし、上限を50,000円とする。

詳しい内容や手続き方法など、お気軽にお問い合わせください。

担当係：企画課定住対策係 電話番号 0984-35-3713（直通）



空き家情報

🍚 空き家 No.113<栗下>

希望条件：売却 220万円

床面積：111.14㎡ 間取：4DK

敷地面積：670.07㎡ 駐車場：2台（車庫無）



🍚 空き家 No.127<向江>

希望条件：売却 130万円（要相談）

床面積：1階 42.61㎡ 2階 43.84㎡

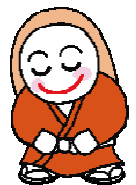
敷地面積：45.19㎡ 間取：5K



空き家バンク登録や、移住についての相談など、

お気軽にお問い合わせください♪

えびの市移住・定住支援センター ☎ 0984-27-3242



移住者インタビュー

北原 悠希さん

2021年4月 Uターン 前居住地：東京都

職業：農業生産法人 株式会社本坊農園



わからないから、知らないからこそやってみよう！

■移住のきっかけは何ですか？

将来、漠然と農業で食べていきたいと思っていて、1~2年半くらい新宿でやっている、“マイナビ就農相談会”や、“移住相談会”に行っていました。そこで話を聞いて、農業をやることを決め、いつ実行するのも決め、えびのへ帰ってきた感じです。

■移住をするにあたり、心配だったことはありますか？

そんなに心配はなかったです。ただ、農業といっても“有機農業”が何かよくわかっていなくて、知らないからやってみようと思いました。それから、たぶん移住するときって、不安とか心配よりも楽しい気持ちの方が多いいんじゃないですかね。仕方なく移住する人っていないと思うので。

■現在、どのような暮らしをされていますか？

独立を目指し、本坊農園で研修を受けています。平日も休日も関係なく、農作業していますね。ただ休日は、練習がてらというか、仕事のようにゴリゴリでやるわけじゃないですけど、割とちょこちょこ動いています。

■これまでの暮らしと変わったことを教えてください。

変わったことは、生活する時間帯です。朝早くに起き、その日の内に寝るようになり、食事も変わりました。東京にいるときは、仕事柄夜の活動が多く、食事も外食メインだったのですが、今は一緒に暮らす祖母が作ってくれるご飯を食べています。

■移住して良かったこと、大変だったことはありますか？

良かったことは、仕事が農業なので自然と触れ合うことが多いことと、生活のリズムが変わって、人と接することが増えたことです。大変なことは、何かやるようになったときに、お店が少ないのでやるまでに時間がかかること、歩いて行けるお店がないとかでしょうか。あとは、年配の方の方言がわからないときがありますね。(笑)

■“えびの”の魅力は何ですか？

熊本や鹿児島など、県外へのアクセスが良いところも魅力です。

■これから“えびの”へ移住を考えている人に一言お願いします。

人生が変わる、変えていけるので、発展途上の“えびの”へぜひ！一緒に環境を作っていきましょう！

きゃんせえびの
ホームページ



えびの市移住・定住支援センター

〒889-4292

えびの市大字栗下1292 えびの市役所3階

電話 0984-27-3242

メールアドレス ebino-iju@aioros.ocn.ne.jp

フェイスブック
ページ

